

備 前 市 施 策 評 価 シ ー ト

施 策 名 (小項目)	下水道	コード	作 者	役職	下水道課長
		01-01-10	藤森 亨	氏名	藤森 亨
			電話	0869-66-9701	
このシート作成に要した時間					12.0 時間

この施策の アピール ポイント	下水道整備計画の見直しにより下水道計画区域の縮小及び整備期間の短縮を行い、計画区域外への対策として、合併処理浄化槽設置補助金を増額し、設置を推進している。
-----------------------	---

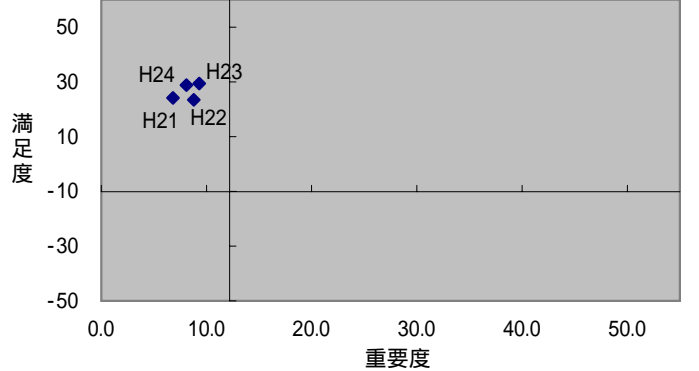
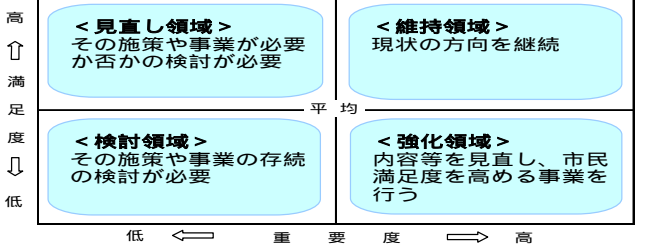
この施策の 平成23年度の 施政方針	平成22年度末の市全体の汚水人口普及率は、推計で83.5%の見込みとなっております。地域別では、備前地域が75.9%の見込みで、日生・吉永地域は概ね完了しており、整備計画に基づいて、順次事業をすすめているところであります。 公共下水道整備については、22年度に続き備前処理区では、友延・木生地区と畠田地区の幹線管渠及び枝線の整備並びに二ノ樋地区の枝線整備を、三石処理区では、渡瀬地区の幹線管渠と守石・宮内地区の枝線整備をそれぞれ行ってまいります。また、昨年度で備前浄化センター及び片上雨水ポンプ場の改築更新が完了したため、次に供用開始後15年以上経過している日生・吉永浄化センターの長寿命化調査及び耐震診断を行う予定としております。 今後の整備方針については、公共下水道事業整備区域の見直しに伴い、合併浄化槽の普及促進を図ることとし、補助金の更なる増額を行い生活排水の適正処理に向けて、早期整備に努めてまいります。
--------------------------	---

< 備前市総合計画の内容から記載する >

政策の体系	基本目標（大項目）	安全で快適に暮らせるまちづくり
	基本施策（中項目）	生活しやすいまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	市民が健康で快適な生活を享受し、豊かさを実感できる地域づくり及び海域・河川など公共水域の水質保全、浸水防除を目的とした事業である。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	建設費が多額で起債償還経費の増加により、一般会計から繰入金を受け、市財政に影響を及ぼしている。施設に関しては設備等の長寿命化を図り、事故の未然防止とライフサイクルコストの最小化を図る。また維持管理経費の削減と使用料の見直しを検討し、経営の安定化に努める必要がある。下水道事業経営の計画性と透明性を図るため、公営企業会計の移行を進める。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道の整備 公共下水道計画区域外への対策 雨水対策の推進 水洗化の促進 適正な維持管理 建設財源の確保 健全財政の維持 	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H21	H22	H23	H24
重要度 (%)	6.8	8.8	9.3	8.1
満足度 (%)	24.1	23.4	29.4	28.8



調査結果に対するコメント、市民の反応等	満足度が高い状況は、長年の整備による普及率の向上と90%を超える水洗化率から理解できます。重要度が低い状況は、日生・吉永地域の整備が完了し、備前地域も整備済み地区が増加し、汚水処理率が83%をこえてきている状況から、下水道に対して関心が低くなっていると考えられます。備前地域の下水道未整備地区の整備を経済的、効率的に実施していきたい。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

施策成果指標（基本目標・基本施策・施策意図から設定）

成果指標	施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
			H21	H22	H23			H24	H28
下水道整備率	目標	%	74.0	77.0	80.0	下水道整備率(%) = 下水道整備人口 / 住民基本台帳人口	H24	74.0	
	実績	%	71.6	72.0	73.5		H28	76.3	
	達成率	%	96.8	93.5	91.9		-	-	
	ベンチマーク		58.8	60.4	61.8		岡山県平均(公共下水道)	-	-
参考指標 水洗化率	目標	%	100.0	100.0	100.0	水洗化率(%) = 水洗化人口 / 供用開始人口	H24	92.0	
	実績	%	90.6	91.5	91.6		H28	92.0	
	達成率	%	90.6	91.5	91.6		-	-	
	ベンチマーク		88.8	89.1	-		類型平均(公共下水道)	-	-
参考指標 放流水質COD値	目標	mg/L	15.0	15.0	15.0	水質汚濁防止法排水基準 COD値(化学的酸素要求量)mg/L	H24	15.0	
	実績	mg/L	8.2	8.3	8.4		H28	15.0	
	達成率	%	182.9	180.7	178.6		-	-	
	ベンチマーク		30.0	30.0	30.0		放流基準値 30mg/L	-	-
参考指標 処理水量	目標	千m ³	6,843	6,843	6,843	施設利用率(%) = 年間処理水量 / 処理能力	H24	60.0	
	実績	千m ³	3,438	3,704	3,825		H28	71.0	
	達成率	%	50.2	54.1	55.9		-	-	
	ベンチマーク		75.7	89.5	-		類型平均(公共下水道)	-	-

目標達成に必要な新規事業（裏面 施策構成事務事業以外の事業）及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
備前市水道課	使用料徴収委託	水道使用料とセットで徴収することによる事務の効率化と徴収率アップ
備前市水道課	水道管移転補償費	工事連携による経費の削減

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い				
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)				
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4	市総人口に対する公共下水道整備済み区域内人口の比率を表す指標で、下水道整備(公共+特環)の状況が把握できる。河川・海域の水質保全のための重要施策であり、市民の快適な住環境を築くため、市が計画的に推進する事業である。				
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	4	人口減少が見込まれる等社会情勢の変化や厳しい財政状況のなか、下水道整備計画を見直し、汚水処理について、効率的な整備手法を選択し、適正な事業推進を図っている。				
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	4	公共下水道事業は、平成30年度を目標に整備をすすめており、終盤となっている。整備率は、県平均を上回り、県内27市町村の中で7位で、高い数値である。水洗化率も90%を超えている。施設は、建設から年月が経過し、長期的な観点から長寿命化計画の策定をすすめることで、コスト削減をめざしている。				
進行年度(H24年度)の取組内容 (課題解決状況)		人口減少、節水意識の高まりにより、下水道財政は厳しい状況のなか、見直した公共下水道未整備区域の計画的な整備と合併浄化槽整備区域の補助金高上げによる整備をすすめる。また、下水道整備区域では、未接続者へ接続義務の周知を行い水洗化を促進する。 日生・吉永浄化センターは、平成23年度に実施した老朽化調査、診断、耐震診断結果をもとに長寿命化計画を策定する。				
翌年度(H25年度)の取組目標		<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道未整備地区の計画的な整備と計画区域外への合併処理浄化槽設置の推進 下水道施設老朽化による事故を未然に防ぐため、長寿命化をすすめる 下水道事業経営の計画性と透明性を図るため、公営企業会計への移行準備を行う 				
二次評価者コメント		公共下水道整備計画が見直され、平成30年度を目標に整備が進められている。備前地域の公共下水道未整備地区の計画的な整備及び合併浄化槽整備事業を更に推進し、整備率・水洗化率の向上に努めてください。 日生・吉永浄化センターの改築更新を控えており、基本計画の策定により緊急性の高い施設から長寿命化を進めてください。 公営企業会計への移行に向けて、引き続き諸準備を行ってください。			基本施策への貢献度	
役職 氏名	上下水道部長 石橋 雅之				3 中立	

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等（単位：千円，人）										施策への 貢献度	
			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度		
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当初予算		
1	公共下水道施設整備事業	管渠整備事業	補助	356,262	32,628	4.63	366,578	35,884	5.26	417,380	33,170	4.74	908,275	
		施設改築事業	補助	413,421	1,546	0.18	509,000	965	0.12					* H22終了
		認可変更委託業務	法定	1,228	616	0.07	0	528	0.06	735	667	0.07	0	* 法定事務
		水道管外移設補償事業	単市	55,578	2,771	0.41	29,183	596	0.08	59,712	1,658	0.21	185,000	
2	浄化槽設置事業	浄化槽設置補助事業	補助	14,086	852	0.10	15,136	869	0.10	41,812	1,516	0.20	34,660	
		管渠整備事業	補助	4,666	2,326	0.30	9,127	907	0.12	0	1,206	0.17	38,000	
3	雨水施設整備事業	ポンプ場整備事業	補助	126,691	851	0.11								* H21終了
		水道管外移設補償事業	単市	0	0	0.00	0	94	0.01	0	0	0.00	0	
4	水洗化普及事務	啓発事務	単市	200	577	0.07	0	0	0.00	0	1,191	0.15	0	
		水洗便所改造資金融資斡旋事務	単市	29	138	0.02	17	0	0.00	12	79	0.01	29	
5	公共下水道施設管理事業	浄化センター外管理事業	単市	323,765	28,657	3.05	307,950	18,791	2.55	330,225	27,946	2.83	349,967	
		管渠施設管理事業	単市	43,258	2,295	0.38	42,202	2,741	0.41	27,001	2,163	0.38	33,083	
		長寿命化対策事業	単市	0	0	0.00	0	0	0.00	36,400	404	0.04	16,000	
6	農業集落排水施設管理運営事業	農業集落排水施設管理運営事業	単市	40,048	303	0.04	31,978	249	0.04	35,393	403	0.04	38,785	
7	漁業集落排水施設管理運営事業	漁業集落排水施設管理運営事業	単市	22,250	1,753	0.18	19,777	781	0.09	16,420	568	0.06	21,267	
8	個別排水処理施設管理運営事業	個別排水処理施設管理運営事業	単市	23,295	391	0.04	23,268	187	0.03	24,147	107	0.01	24,661	
9	排水設備検査事務	排水設備検査事務	内部管理	0	2,187	0.34	0	1,652	0.26	0	3,452	0.59	0	
10	受益者負担金賦課徴収事務	受益者負担金賦課徴収事務	内部管理	8,424	2,782	0.31	4,051	2,600	0.28	10,157	2,245	0.28	8,900	
11	下水道財政管理運営事務	下水道審議会運営事務	内部管理	124	1,661	0.20	104	1,498	0.17	0	0	0.00	195	
		日本下水道協会負担金	内部管理	119	36	0.00	202	78	0.01	205	0	0.00	118	
		中四国下水道協会負担金	内部管理	58	31	0.00	22	78	0.01	20	0	0.00	21	
		岡山県下水道協会負担金	内部管理	233	31	0.00	0	78	0.01	0	0	0.00	98	
		和気赤磐共同コンポスト事務組合負担金	内部管理	10,005	121	0.02	10,060	178	0.02	43,269	0	0.00	0	* H23終了
12	下水道使用料賦課徴収事務	下水道事業債管理事務	内部管理	2,721,066	3,507	0.36	2,001,481	2,262	0.23	1,936,818	2,203	0.22	1,948,758	
		下水道使用料賦課徴収事務	内部管理	13,752	1,590	0.17	14,587	1,319	0.14	15,178	2,144	0.27	14,678	
この施策に費やした資源（単位：千円，人）			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度		
			4,178,558	87,650	10.98	3,384,723	72,335	10.00	2,994,884	81,122	10.27	3,622,495		